

令和4年度「医療機関の受診予約及び電話・オンライン診療に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、
事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

本アンケートの結果を横浜市医師会等関係機関と共有して、今後のより良い医療提供体制を検討していくための参考資料としています。令和4年11月には神奈川県が主体となって、オンライン診療体制拡充のための補助事業を開始しました。今後もオンライン診療やオンライン予約など医療分野のICT化が進んでいく中で、すべての皆様が、医療につながりやすい環境を整えられるよう、本市としても現状分析と施策立案及び実現に向けて努めてまいります。

2 アンケートを実施した感想

Q4やQ13の結果から、オンライン予約やオンライン診療のニーズの高さを改めて知ることができました。一方で、電話予約や対面診療が良いというご意見も大切にしていかなければいけないと感じています。それぞれの良さを理解したうえで、個々のニーズに合った方法を選択いただけることが最も望ましいものと本アンケートを通じて認識することができました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。自由記入欄を含め、大変参考になるご意見を多くいただきました。

新型コロナウイルス感染症が流行してから約3年が経つ中で、医療分野におけるICTの利活用にかかる考え方も大きく変化していると思います。本市としても、市民の皆様のニーズに応えられるよう、今後の医療提供体制の充実により一層力を入れていきたいと思っています。

担当：健康福祉局健康安全課

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。